

Friendship International



NOVEMBER 8, 2024

なぜ時計を年に2回、変えるのでしょうか。

皆さんの母国が時刻を年に2回も変更しないのであれば、ここアメリカでの慣習は恐らく奇妙ですね！夏時間（サマータイム）もしくは「DST（Daylight Saving Time）」は、夕方の日照をいっそう活用するために、アメリカやその他の国々が導入している制度です。春に時計を1時間早めることで、夕方の日照時間が増え、早朝の日照時間は減るという考えです。この変更は、3月から10月末まで続きます。

最初に実施されたのは第一次世界大戦中で、夕方の人工照明の必要性を減らすことで燃料を節約しようとした国々が始めました。1916年にドイツとオーストリアが初めて夏時間を導入し、その後数カ国が導入しました。そして、1918年にアメリカも続けました。

アメリカは第二次世界大戦中に再び夏時間を導入しましたが、戦後は各州が夏時間を実施するか否か、いつ時計を変えるかを選択することができました！ご想像の通り、これはかなりの混乱を招く可能性がありました。

1966年に「統一時間法」が可決され、夏時間の導入が全米でより一貫性のあるものになりました。現在では、夏時間を全く導入していない2つの州（ハワイ州とアリゾナ州の大半）を除くアメリカのほとんどの州で、毎年同じ時刻に時計を変更します。

ですから今日に至るまで、3月に「spring forward（春は前へ）」で時計の針を1時間進め、11月初めには「fall back（秋は後ろへ）」で1時間戻しているのです。近年では、これを続けることの必要性を疑問視する人もいます。2022年に米国議会の上院は、夏時間を全米で恒久化する可能性があった法案、サンシャイン保護法（日照保護法）を全会一致で承認しました。（これは「標準時」に二度と戻すことがないことを意味します。）しかしながら、この法案が米国議会の下院で採決されることはありませんでした。

この法案が再び戻って来る可能性はありますが、その日が来るまで、春は前へと秋は後ろへと毎年続けることになるのです！



今後の予定

11月8日	Julie Tennentと共に聖書とは
11月15日	VisitLEX（ゲストスピーカー）
11月22日	感謝祭の食事会
11月29日	感謝祭の日
11月30日	フレンドシップ・インターナショナルはお休み

ファミリー英語学習者ブッククラブ

11月20日（水）及び12月18日（水）

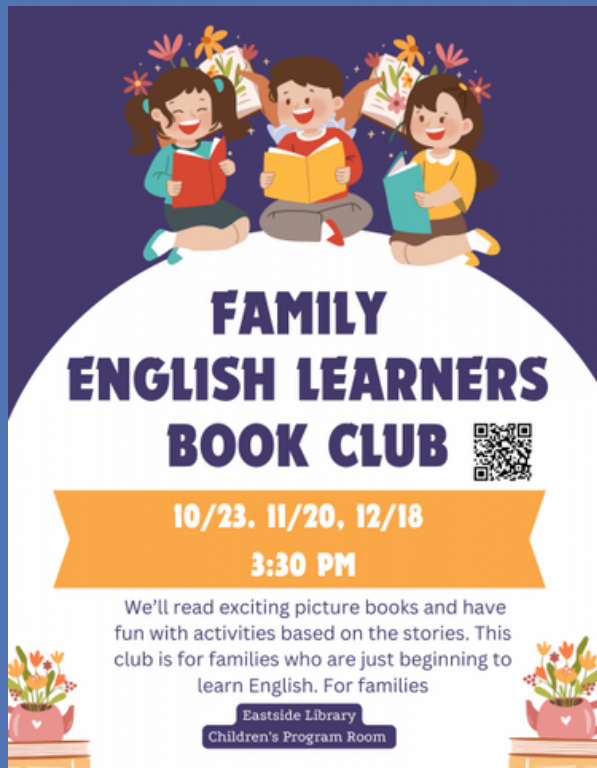
午後3時半～4時半

レキシントン図書館 イーストサイド・ランチ

3000 Blake James Drive

レキシントン図書館のファミリー英語学習者ブッククラブに参加しよう！絵本を読み、お話に基づいたアクティビティーを楽しみます。このクラブは、英語を習い始めたばかりのお子さんが対象です。

[詳細はこちらをクリック](#)



その他の地元図書館イベント

レキシントン図書館：イーストサイド・ランチ

3000 Blake James Drive

料理と本：ターキー・トラブル

11月16日（土）午後2時～3時

図書館を訪れて、感謝祭の本を読んで、食べられるセンターピース（食卓の中央に飾るもの）を作って持ち帰ろう。子ども一人一人に材料を配布しますが、数に限りがあります。

DIY ウッド・スライス・ターキー

11月17日（日）午後1時半～2時半

参加者には、七面鳥の最高傑作を作るための木のスライスとその他の材料が配られます。数に限りがありますので、遅れずにお越しください！

レキシントン図書館：マークスベリー・ファミリー・ランチ

2197 Versailles Road

DIY キャンディー寿司

11月14日（木）午後4時～5時

図書館に立ち寄って、日本の食文化をたたえ、学びながら自分だけのキャンディー寿司を作ろう。家族向け。

市民権クラス

11月18日（月）午後5時～6時45分

ケンタッキー難民ミニストリーズの講師が教える、米国市民権試験を復習するための無料の市民権クラスに参加しよう。受講者はグリーンカードを4年9か月以上保持している必要があります。登録は不要です。



この秋冬に病気になったら、こちらののどの痛みに効くシナモンティーを試そう



今月は感謝の気持ちを実践して、感謝の本を作ろう